

お店屋さんごっこについて (公開保育資料)

2016.1. 江刺保育園 遠藤清賢

はじめに

どんなお店を出展したいのか子どもたちの意見を出し合う。

そのお店にはどんな品物があるのか考える。

その品物をどんな材料で作るのか考える。

(0～2歳児は保育士が考える。3歳児は保育士が提案。4、5歳児は子どもたちの意見を尊重。)

材料は出来るだけ家庭で使う廃材を利用する。

(牛乳紙パック、乳製品等の容器、トイレットペーパーの芯、等)

5歳児はお店で使うお金を作る。

準備

品物を作る。

値段を考える。

宣伝(表示、お知らせなどのポスターを描く。)

一緒にお買い物をする組み合わせをクラス担任が話し合い考える。

(大きなクラスと小さなクラスでペア一緒に買い物をするために)

調理室も参加する。(お昼はフライドチキン弁当、おやつは肉まん)

買い物袋を用意する。(各家庭から持ってくる。)

実施

品物をそろえる。

値段をつける。

売り手、買い手を決め交替する。

大きい子は、小さい子の買い物をサポートする。

0,1歳児は保育士と一緒に買い物をする。

30分間2回にわけて買い物をする。

「お店屋さんごっこ」の教育的なねらい

お店屋さんごっこは、保育園の教育活動の中では総合的な教育活動として位置付けられています。その特徴として、お店中の品物、その配置や看板等のお店としての環境を想像し、考え、個々の意見をまとめ具体的にお店作りを行います。友達と一緒にの作業や、その作業を分担し、協力して品物作りを行いながら友人関係を深めることができ、あるべき人間関係性の構築を養います。品物を説明し自分の作った品物を買ってもらうために、言葉の表現を工夫します。この遊びの買い物で大きい子は小さい子の世話をすることを体験します。この疑似社会的な遊びを行うことは、意見の共有すること、協力や支え合いなどの人間関係、言葉の表現、想像を具体的な行動や形にすること、等を学習し、4,5歳児は数の計算、分配、物の再利用、など様々な事柄を体験的に学習することができる優れた取り組みなのです。

この行事が年度の終盤に計画されているのは、特に5歳児の子どもたちがこの行事を心から楽しむことができるまでに成長しているからです。保育園生活に慣れ、その生活を楽しみ、自己表現が出来るようになり、他者の心が理解でき、自分に自信を持つことができているこの時期にこの子どもたちが中心になって活動を盛り上げることができるからです。

江刺保育園では品物やそのお店は毎年子どもたちの意見によって違っていますが、お店屋さんごっこの形態はほとんど変化していません。0歳児からこの行事を体験します。0歳児はただ参加するだけです。1,2歳児は品物を手に入れたことを喜びます。3歳児は皆でできる品物の売り買いを楽しんでいると思います。実際に買った品物は皆大事に自分の家に持ち帰って遊んでいるようです。4,5歳児は心からこの行事の楽しさを体験し、自分が作ったものを皆が喜んでもらう体験をすることでさらに自信を持ち、自分を社会集団の中で生きる一人の社会的人間として意識することが出来るようになります。乳児クラスの子どもたちが楽しいのかそうでないのかは大きな問題ではなく、まず参加するというのを大切にしています。楽しく活動している様子を乳児が見ることで、今後の活動がさらに豊かになり、その後の成長に大切な経験になります。

自分の作った品物に自分で値段をつけることは、品物に価値を与える体験なのです。私たちの社会は、働くことによって価値が生み出される社会であることをこの遊びを通して疑似的に体験できるのです。

自分が働いて生み出した価値をお金として受け取り、自分も他者が生み出した品物を自分にとって必要な物としてお金によって手に入れることができる、そのような社会の仕組みを体験できる高度な遊びが「お店屋さんごっこ」なのです。自分が考え行動しその働きによって必要な物に価値を付けそれを生み出して行く社会の仕組みを体験することができるのです。さらに人間にとって真の価値のある物はどんなものなのかを子どもたちが考えることができるようになるならさらに大きな展開が期待できますが、これは保育園児の能力を超えていると思います。この「お店屋さんごっこ」は単なる遊びですが、この中に含まれている教育的要素は非常に多岐に渡っています。子どもの成長に貴重な体験をもたらすことが期待できます。

作られた品物 小さいクラスの品物は主に先生たちが子どもと一緒に作ります。大きなクラスの子たちは自分で考えて作っています。



店の様子 一人10円札10枚を持っています。限られたお金なので子どもたちは何をかうのか一通りお店を見て決めるようです。買った品物は家に持ち帰ります。家では壊れるまで遊んでいるそうです。



買い物の様子 大きい子が小さい子の買い物をサポートします。組み合わせはそれぞれのクラスの担任と一緒に考えますが兄弟は一緒にするのが原則です。



調理室 この日には調理室はお弁当屋さんになります。おやつはたこ焼き屋さんになって実演販売をします。今までにはクレープ屋さん、ポップコーン屋さん、おでん屋さん等いろいろなお店を出しました。その年によってどんなお店を出すのか子どもたちは楽しみにしています。

